

生乳の需給等に係る情報交換会（第3回）議事概要

開催日時：令和6年3月15日（金）10:00～12:20

開催場所：対面・web ハイブリッド会議

出席者：別添参照

議事概要：

出席者より、各生乳流通事業者から、全国的な需給の安定に向けた取組等の提案内容について説明があり、それを踏まえて行われた意見交換の概要は以下のとおり。

発表のあった提案内容の一例

需要拡大：魅力ある商品の開発・販売、牛乳乳製品の輸出拡大、酪農が果たしている価値普及等の広報

需給調整：全国協調の在庫対策、季節別乳価の採用、用途別乳価の見直し、生産頭数のコントロール

（用途別取引と需給調整について）

農林水産省から、用途別取引を前提に牛乳需要に合わせて生乳を乳製品に仕向けることで乳価の安定と牛乳の安定供給を図る考え方について説明。

- 用途別乳価は、生産者からみたときに、同じ生乳であるにも関わらず何に仕向けられたかで価格が変わるので理解しがたい。一物一価にすれば混乱は起きると思うが、供給量が本当に減ってしまうかは疑問。海外をみれば生乳の取引は様々。用途別乳価や制度も含めて、牛乳の位置づけを議論する場が必要と考える。
- 諸外国の乳価は一本とは言い切れないが、基本的に国際市場で価格が形成されるので、乳価が市況に左右される中で生乳生産がなされてい

る。多くの酪農家は乳価の大きな変動を良しとしないのではないかな。

- 牛乳向け生乳は過剰供給になってしまうこと、牛乳需要自体にボラティリティがあることから需給調整が必要となる。飲用向けが増えるだけ農家の所得は増えるが、需給調整は大変になる関係。このため、変動乳価だからこそ取れるもの、安定乳価のために諦めないといけないものがあると認識。どっちにスポットを当てるかだが、全ての関係者が100%満足する世界というのは難しいのではないかな。
- 北海道でなぜ自主流通が盛んなのかというと、用途別乳価で少しでも高く売りたいと希望する酪農家さんが多いから。用途別乳価の是非は考えるべきと思うが、生産者としては、乳価の変動は好ましくない。
- 乳製品加工によらない需給調整もあるが、やはり賞味期限が長い脱脂粉乳バターが持つ需給調整機能は非常に強力。世界に目を向けても輸出国を除き、一本乳価にして成功した事例は聞いたことがない。イギリスのようにはっきりした失敗事例（MMB解体に伴う一本乳価への移行と乳価の下落）を目にしている分、今の脱脂粉乳バターを需給調整弁とする仕組みを根本から変えることは非常に怖い。

（全国的な取組としての牛乳や酪農の価値の訴求について）

- 次世代の消費者が求めるものを深く考え、牛乳乳製品の価値の可能性を議論していくことは必要。
- 業界を超えて取り組んでいくことは良い。

3. 全体

- 各事業者から報告のあった取組の提案や議論について論点を整理し、全国の需給調整の在り方や各事業者の役割等について、議論を深めていくこととする。

以上

第3回生乳の需給等に係る情報交換会 出席者名簿

日時： 令和6年3月15日（金）10：00～

場所： 対面・webハイブリッド会議

1.出席者

氏名(敬称略)	会社・団体等	所 属・役 職
山 本 聡	ホクレン農業協同組合連合会	酪農部 次長
長 瀬 秀 人	サツラク農業協同組合	代表理事組合長
久 多 里 俊 輔	株式会社カネカ	Foods&Agris Solutions Vehicle 乳製品事業開発Starategic Unit 酪農・乳製品チームリーダー
藤 本 涼 子	株式会社MMJ	取締役
安 部 強	東北生乳販売農業協同組合連合会	代表理事専務
迫 田 孝	関東生乳販売農業協同組合連合会	代表理事常務
児 玉 耕 司	北陸酪農業協同組合連合会	参事
塩 治 隆 志	東海酪農業協同組合連合会	業務部 部長
植 田 泰 弘	近畿生乳販売農業協同組合連合会	参事
植 野 光 雄	中国生乳販売農業協同組合連合会	代表理事常務
畑 山 英 隆	四国生乳販売農業協同組合連合会	事業管理部 部長
稗 島 喜 美 男	九州生乳販売農業協同組合連合会	代表理事常務
香 村 直	沖縄県酪農農業協同組合	参事兼総務課長
島 崎 美 昭	ちえのわ事業協同組合	代表理事
福 田 貴 仁	株式会社MilkNet	代表取締役

2.同席者

大 沼 正 宜	ホクレン農業協同組合連合会	酪農部 生乳共販課長
斎 藤 哲 郎	サツラク農業協同組合	経済部 部長
軽 部 裕 二	カネカ食品株式会社	販売促進統括部 乳製品営業部 課長
松 村 基 弘	株式会社カネカ	Foods&Agris Solutions Vehicle 乳製品事業開発Starategic Unit 事業戦略チームリーダー
山 口 寛 司	近畿生乳販売農業協同組合連合会	総務部 部長
大 久 保 誠 太 郎	九州生乳販売農業協同組合連合会	審査役
柳 沢 光 浩	沖縄県酪農農業協同組合	購買・販売指導課長
大 城 和 歌 子	沖縄県酪農農業協同組合	販売指導課主任
田 口 優 子	ちえのわ事業協同組合	常務理事
嶽 山 恵 介	株式会社MilkNet	営業本部 部長

3.オブザーバー

玉 井 明 雄	独立行政法人農畜産業振興機構	酪農乳業部長
宗 政 修 平	独立行政法人農畜産業振興機構	酪農乳業部 生乳課長
大 崎 修 嗣	一般社団法人 中央酪農会議	業務部 調査役
川 井 智 樹	全国農業協同組合連合会	酪農部 生乳課長
福 永 真 人	全国農業協同組合連合会	酪農部 生乳課 課長代理
岩 本 仁 志	全国酪農業協同組合連合会	酪農部長
佐 藤 弘	全国酪農業協同組合連合会	酪農統括

4.農林水産省

須 永 新 平	畜産局 牛乳乳製品課	課長
平 田 裕 祐	畜産局 牛乳乳製品課	課長補佐（生乳班）
塩 田 知 恵 子	畜産局 牛乳乳製品課	生乳班 畜産専門官